

お正月遊びの会 2016 活動報告

＜朝のごあいさつ＞

幼稚園生、小学生の皆さんに新年お会いするのは年が明けて初めてです。
「明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。」
畳に手をついてご挨拶をしました。



＜昔ながらの遊びを楽しむ＞

お手玉、だるま落とし、とんとん相撲

お手玉4個を操る先生に

「先生、手がたくさんあるみたいね。」

「少し練習すればすぐ出来ますよ。まずは2個から始めましょう。」

＜かるた模範演技＞

暁星（A級4段）と日女附高（A級5段）の高校生のお兄様、お姉様が披露して下さいました。

札の飛ぶ様子と音に驚き、先生が注意しなくても、とても静かに見ていました。



＜かるたの時間＞

小学生は百人一首の取り方、覚え方を教わりました。

「学校で百人一首大会がある」という小学生も多く、真剣に教わる姿が印象的でした。

幼稚園生（年中、年長）は、いろはかるたとおはなしかるた、年少さんは動物かるたと絵合わせかるたを楽しみました。

白熱の大接戦。お友達と一緒にやると、学ぶことも多いです。



<お抹茶の時間>

お重に生菓子とお干菓子を入れ、お懐紙に順番に取り、お薄茶を頂きました。
皆きちんと正座をし、少し神妙な面持ちでした。

「おいしくて、なんかすてきだった。」

年長さんの女の子の感想です。



<凧作り>

小学生と年長さんは凧の組み立てから、幼稚園生（年少、年中）は凧の絵付けを描きました。それぞれに新年の願いごとをこめて、大きく大きく描きました。



<羽根つき>

コン、コン。木の羽子板に羽根があたる音は、子どもたちの耳にも心地よいようです。

コツをつかむと相手がついた羽根を打ち返せるようになります。

「いくよ。」「いいよ。」

汗びっしょりになりながら楽しみました。



<凧揚げ>

富士山や今年の干支の猿、鏡餅、七福神。

様々な凧が、勢いよく走ると風を受けてどんどん高く上がっていきました。

「凧、凧あがれ、天まであがれ」笑顔で走る子どもたちの瞳は輝いていました。

